



桶川小学校放課後子供教室

あいあい通信

令和7年10月号

◎ 連絡・問合せ 090-3750-3872

okegawa.aiai@au.com

☆☆☆おりがみ・ぬりえ☆☆☆

やっぱり子どもたちはおりがみ・ぬりえの先生です。私はつるしかおれません。ぬりえは今はやりません。子どもたちはおりがみで三色のコマが作れます。犬もつくれます。兜（かぶと）も作れます。かわいい手さげもつくれます。🍁を作って「おかあさんにあげるんだ。」と言ってがんばる子もいます。きっとおかあさんはよろこんだことでしょう。ぬりえもていねいにぬってすてきなさくひんを作っていました。私のにがおえをかいてくれる子もいてうれしい時間になりました。子どもたちはスタッフをよろこばせてくれる天才です。おりがみをいただきありがとうございます。みんなちがってみんないい。

<10月のふれあいタイム>

9/29日(月)	9/30日(火)	10月1日(水)	10月2日(木)	10月3日(金)
ウボンゴ・トランプ	キッズテニス (体育館)	スライム	プラバン	スライム
10月6日(月)	10月7日(火)	10月8日(水)	10月9日(木)	10月10日(金)
スライム	スライム	ウボンゴ・トランプ	スライム	フリータイム
10月13日(月)	10月14日(火)	10月15日(水)	10月16日(木)	10月17日(金)
スポーツの日	外遊び (校庭)	読書・紙芝居 (図書室)	キッズテニス (体育館)	折り紙・お絵かき
10月20日(月)	10月21日(火)	10月22日(水)	10月23日(木)	10月24日(金)
フリータイム	ボール投げ (体育館)	フリータイム	わくわく	プラバン
10月27日(月)	10月28日(火)	10月29日(水)	10月30日(木)	10月31日(金)
プラバン	こまづくり (茂木)	閉室日	外遊び	ウクレレ

<言ってはいけないことば・してはいけないこと>

あいあい教室では、みんながなかよくすごしてほしいとねがっています。でも、ときどきかなしいかおをして、「こんなこといわれた」「こんなことされた」と言ってくる子がいます。

そこで、みんなで話し合って言ってはいけないことば、してはいけないことをやくそくしました。

言ってはいけないことば；ばか、しね、きえろなど 人のことをきずつけることば
やってはいけないこと；うそをつくこと、人をぶつこと、けること、いじわるをすることなど
人の体をきずつけること

みんなが、見たり聞いたりしたら、「やめなよ」と勇気を出していってね。

< 11月のふれあいタイム >

3日(月)	4日(火)	5日(水)	6日(木)	7日(金)
文化の日	振替休業日	魚つり・ウボンゴ・トランプ	魚つり・ウボンゴ・トランプ	魚つり・ウボンゴ・トランプ
10日(月)	11日(火)	12日(水)	13日(木)	14日(金)
魚つり・ウボンゴ・トランプ	魚つり・ウボンゴ・トランプ	読書・紙芝居	フリータイム	県民の日
17日(月)	18日(火)	19日(水)	20日(木)	21日(金)
キッズテニス(体育館)	フリータイム	フリータイム	フリータイム	フリータイム
24日(月)	25日(火)	26日(水)	27日(木)	28日(金)
振替休業日	なぞなぞクイズ	室内ゲーム(体育館)	折り紙・工作	フリータイム

< うばすてやま >

むかし、信濃の国の殿様は、たいへんきれいい好きで、みにくいものは、大きらいでした。人間も年を取ると、みにくくなるので、年を取ったものは殺すという命令を出しました。

あるところにたいへん親孝行のお百姓がいました。彼は年老いた母をととても殺す気にはなれません。かといって殿様の命令を守らないとたいへんなことになります。その息子は母を山にかくすことを思いつき、ある日、母を背負って、山に登っていきました。山の中ほどに来て息子は母に、ここに連れてきたわけを話しました。

母は「私のような者は、もう何の役にも立たないから、どこにいても同じこと、死ぬ時が来たら死ぬまでのこと、私をおいて、お前は安心して早くお帰り」というのです。

息子は心を残しながら山を下りていきました。すると、今上ってきた道に木の枝が落ちていて、迷子にならずに帰れるではありませんか。それを見た息子は、「こんなに私のことを思ってくれるお母さんをどうして山の中にすておくことができよう」と山に引き返して再び母を背負い家に帰り、役人に知られないように、穴ぐらの中に母をかくしました。

それから、しばらくすると殿様は国の人たちの知恵をためそうと、灰でなった縄と、本と末のない材木をさし出すように命令しました。ところが、この難題はだれにもできませんでした。すると、母は

「きつくきつく縄をなつてその縄をだいにだいに焼いてから灰にすればよいし、本と末のない材木は末のほうをよくだたいて水につけておけば、本と末が同じ大きさの材木ができましよう」と教えてくれました。息子はもう一人の仲間に話し、二つのものをこしらえて殿様に献上しました。殿様は、たいへん感心して、「お前が一人で考えたのか」と尋ねました。息子は母が教えてくれましたと正直に話すと殿様はそれを聞いて年寄りばかりかしこいものだということが分り、前に出した命令を取り消しました。この息子はもちろんのこと、国中のものが大喜びし、これもこの孝行息子のおかげだと、みんなが感謝したということです。

- 「おはよう」で はじまるあさの さわやかさ (家庭から……)
- けんかして 「ごめんね」って なかなおり (「ごめんね」といえる子は勇気あり。)
- のこさずに みんなえいよう 「ごちそうさま」(食品ロスをもったいない!)
- 「はい」という げんきなへんじ きもちいい (いつでもどこでもへんじは「はい!」)